



学校だより

かけ橋

パート III

横須賀市立汐入小学校 校長室

2013. 5. 30

No. 5

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

緑が丘の屋上から

5月2日(木)3年生が、地域学習で緑が丘女子中学高等学校の屋上に登らせていただきました。当日は、空模様が心配されたのですが、無事に晴れわたり、遠くまでよく見えました。緑が丘高校の教頭先生が案内してくださり、東京スカイツリーまで発見できました。

事前に、汐入小の屋上で、東西南北の方角を見て学習してきた子どもたちですが、同じ屋上でもまったくちがう景色に大興奮でした。

子どもたちのふり返りを读むと、その気持ちが伝わってきます。子どもの言葉に「すごい」とか「きれい」といった一般的な言葉だけではなく、具体的な言葉で綴られているところ、また、目だけでなく耳も使ったと分かる表現があるところに、それが良く表れています。



ちょうど、緑色の階段を登った途中、きれいな花がありました。そこで写真を撮りました。

北東には東京スカイツリーが見えました。西の山の方に長光寺がありました。あと、西の真下に京急の電車があって、「緑が丘学院の下に京急電車が通っているんだよ。」と緑が丘学院の教頭先生が教えてくれました。



緑が丘学院の屋上に行って、見たのは、猿島やベースや横須賀中央や千葉や八景島シーパラダイスや汐入小学校や山や東京スカイツリーがうっすらと見えました。電車や大楠山やベイスクエアやすこやかんも見えました。それに6年生の声もちっちゃな声で、ちょっと聞こえました。

「学力を向上させる」

平成25年度の横須賀市教育委員会の2つある指導の重点のうちの1つが、「学力を向上させる」です。それを解説した文では、「確かな学力」を育むための手だてとして4つ書かれています。

- ①基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ②思考力・判断力・表現力の育成
- ③学習意欲の向上
- ④健康的で望ましい生活習慣を基盤とした学習習慣の確立

子どもたちに「確かな学力」を保障することは、学校教育の責務であると考えています。汐入小学校でも、学校職員が一丸となって取り組んでいます。

担任は、①のために、毎日のように宿題を出しています。また、②を目指した授業のあ

り方を職員全体で研究しています。これは、校内研究と言われ、市内のどこの学校でも取り組んでいます。③は、どの授業でも大切にしている部分です。「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」が感じられる授業を目指しています。④は、道徳や保健、家庭科等できっかけをつくり、子ども自身が実践していくように指導しています。

授業を受け持つ教員だけでなく、事務職さんや用務員さん、給食調理員さんも子どもたちの学習環境を整えるために仕事をしています。本校では、どの職種の人も、子どもと積極的に関わりを持って来ています。小規模校の良さだと感じています。

学校だけでは、限界があります。ご家庭の協力も重要になります。例えば、①のために、担任が宿題を出します。ご家庭で適切な言葉かけをしていただくと、さらに効果が上がります。しかし、お家の方が、宿題に対して無関心だったりすると、①の目的が十分達成できなくなります。逆に、過度に関わりすぎると、一時的には①が達成されるかもしれませんが、③が、損なわれることもあります。

すでに、ご家庭に配布されていると思いますが、横須賀市教委では、「家庭学習のすすめ～保護者のみなさまへ～」を作成しています。その中に、「家庭学習における保護者の心がまえ」が書かれています。

「生活のリズムを整える」

「学習する雰囲気を作る」

「対話をする」

「努力を認め、励ます」

それぞれに、さらに具体的な内容が書かれています。その他にも、ぜひ実行して欲しいことが書かれています。お手元に無い方は、Webで、**横須賀学力**と検索するか、学校にご連絡ください。学校と家庭の協力で、汐入小の子どもたちの学力を向上させましょう。

家庭学習だけでなく、文部科学省では、繰り返し「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨しています。市教委の言っている「健康的で望ましい生活習慣」の部分です。

本校の場合、各家庭の意識が高く、気をつけていることが分かります。それは、子どもたちとの会話から推察することができます。また、先日の月曜朝会で、ある先生が朝食を食べてきているか尋ねると、ほぼ全員が食べてきていることが分かりました。

ある雑誌で、「朝食、食べればいいのか？」という題名で、島根県雲南市の調査結果が載っていました。小学校4年生から中学校3年生までを対象にした学力調査と生活実態調査の相関分析を行ったものです。以下のように書かれています。

朝食の中身で、「主食、副菜、主菜、乳製品」を取った子どもが、学力平均76.6点で最も高かった。「主食、乳製品」の子どもが70.4点でちょうど真ん中あたりである。「主食」だけの子どもは62.1点で、「欠食」の子どもは61.7点とほとんど差がなかった。

つまり、欠食あるいはパンだけの子どもに比べて、パンにバターをつけたりチーズをかじると8点ほど学力が上昇し、さらに肉や魚や卵、野菜や海藻が加わると学力が6点あまり上昇していたのである。

学力が、得点だけで測れるものではないという考えもありますが、ある意味大切なことを示唆しているように感じます。単純に、食べればよいというものではなく、その食事の中身が問われていると思います。

子どもたちにとって、豊かで質の高い生活を用意してあげることが、私たち大人の責任なのではないでしょうか。